

申22号 2022年度賃金引上げ等 第2回団体交渉について

3月9日、中央本部は申22号第2回交渉を行いました。交渉には6日間で7500件もの働く人の切実な声が寄せられています。青森支部内でも各職場での赤裸々な声を本部へ託し、賃上げ回答を会社に求めてきました。しかし、会社は「いただいた声は受け止める」としながらも、21春闘時と同様のスタンスで、「今回いただいている要求に関しても極めて慎重に判断しなければいけない」と賃上げに希望を見出せる回答をしていない現状です。

みんなが職場でコロナと闘いながら仕事と生活の両立に頑張っています。社員には一人ひとりの生活があります。会社はそれを賃上げで支え、生活の向上から仕事の「働きがい・やりがい」に繋げ、生活と仕事が良く作用し合うシナジーを目指していくべきです。社員を「コスト」でなく「財産」だと捉える賃上げ回答を求めます！

人件費が抑えられている中でロシア問題で物価の上昇も始まっている。生活を支える回答をしてほしい

会社と現場社員の認識が一致していない。

この先も人件費を抑えると希望の無いことを言うのでやめていく人が多い。

家族はJR東日本に希望を持っている。失望させないでほしい。

定昇を意識して先々のライフプランを立てていた。モチベーションを下げないでほしい。

良い人材を集めるためにも希望ある賃上げをしてほしい。未来への投資と考えてほしい。

会社の赤字脱却への努力が見えない。赤字なのに要らないところに会社のお金がたくさん使われている。これで定昇減らされても納得がいかない。

第二基本給制度はもう終わりにしてほしい。国鉄改革から続く退職金を抑える悪い制度だ。若者世代には必要ない。

我慢ばかりでよい話が無ければやりがいが低下するのは当たり前。離職増加も納得できる。

業績が最高の時でも出し渋っていたので現状は予想できた。物価が上がって賃金が上がらないでは生活が苦しくなる。

アフターコロナの会社発展のため、定昇「4」完全実施を要求する！

なんでもやらされる。自分を安く売るのはもうやめたい。会社は賃上げで答えてほしい。

無駄なところに金が使われている。定昇・ペアに使うべき！

定昇を意識して先々のライフプランを立てていた。モチベーションを下げないでほしい。

会社は働く者の声を受け止め満額回答を！

他にも情報が欲しい！という方は、「東北三地本」で今すぐ検索♪
もしくは、右のQRコードから気軽にアクセス☆→→→→→→→→

